

6-2 事業活動報告交流会の実施

公益事業に対する理解の普及と協力を得ることを目的に、全国の大学・短期大学の関係者を対象に12月1日に関西・中四国地域（会場：関西大学）、12月4日に九州地域（会場：福岡大学）、12月11日に東海地域（会場：日本福祉大学）、12月18日に東北地域（会場：東北学院大学）、12月19日に北海道地域（会場：北海学園大学）、にて向殿会長、事務局長が出向して実施した。5地域で37大学1短期大学、155名が参加し、その内、非加盟校は13大学1短期大学で14名（9％）であった。

教員の参加は、31名（20％）、職員124名（80％）で教員は昨年度より1割程度減少した。

以下に、参加教員の約3割、参加職員の約7割によるアンケート結果の概要を報告する。

（1）事業活動に関する感想

教員、職員とも多くの事業活動を展開しており、非常に参考になったとの感想が寄せられた。その中で幾つかを紹介する。

- ① 教員からは、「全体の動きとしてどのような方向性を持っているのか知ることができた。全学的に知らせていく必要があると思う」、「執行部の方々の熱意は十分感じとることができた。根回しを行い参加者を増やしていくべきかと思います」、「高度化する情報教育への対応について、幅広い観点から積極的に取り組み、情報教育への重要性を認知させる重要な活動であると感じました」など、事業活動が歓迎されていることがうかがえた。
- ② 職員からは、「質・量ともに高レベルな活動がなされていると思います。本校も積極的に各活動に参加していきたい」、「教育・学修方法の改善に向けた活動、大学連携・産学連携による教育支援等の振興・推進活動、情報環境の整備充実に向けた活動、教職員の職能開発活動の一つひとつがかなり重要な事項であって、ICTの現状を知る一助として敬服いたします」、「情報セキュリティの注意喚起など執行部、CISOに意識を高めていくような活動をいただくと大変助かります」、「AI、IoT、ビックデータなど、教育と深くかかわる時代になってきたことで、これからの教育環境の変化について考えるきっかけになりました」、「情報教育の今後、将来に向けてモデル作成・検証など積極的な取り組みをされていて感謝します」、「ICTの現状を理解する貴重な機会でした」など、事業活動について多く賛同されていることがうかがえた。

（2）交流会の運営等の要望・感想

- ① 教員からは、「内容が多かったが、とても興味深く聞くことができた」、「会員以外の大学にもこのような報告会は有用です」などであった。
- ② 職員からは、「協会のコアな話を地域でも伺うことができ感謝する」、「年間通してこれだけの運営をされていることに少なからず驚嘆します。学内手続きが予算上難しい場合がありますので、交流会は助かります」、「eポートフォリオの導入を検討しており参考になります」、「全体的に早足なので、もう少し時間をとって、ゆとりをもって実施して欲しい」など、交流会の実施を継続していくことの要望と運営の充実について工夫する必要性を感じた。